ICT関連

葉山災害ボランティアセンターポータルサイト

国立研究開発法人防災科学技術研究所（防災科研）の支援を受けて、防災科研が提供するeコミュニティプラットフォーム上に葉山の防災情報ポータルサイトを構築しました。

http://ecom-plat.jp/ictkanagawa_sv/index.php?gid=10143
下記のQRコードを読取るとすぐにページにアクセスできます

現在「葉山災害ボランティアセンターポータルサイト」では全国社協がまとめた、熊本大分の各地の「災害ボランティアセンター」のホームページ、フェイスブック、ツイッターを基にした情報を掲載しています。
これを見ると現状を俯瞰的に把握できる便利なページになっています。また情報を地図上に表示するような仕様になっていますので、是非ご覧ください。

臨時掲示マップ

熊本地震情報

作成 2016/04/29 13:50:22：更新 2016/05/12 19:47:32

熊本県、大分県の避難所、医療機関、公共施設、現在のボランティアセンター、現在の交通規制、現在の熊本市と阿蘇郡市開院医院のマップ　マップを開く

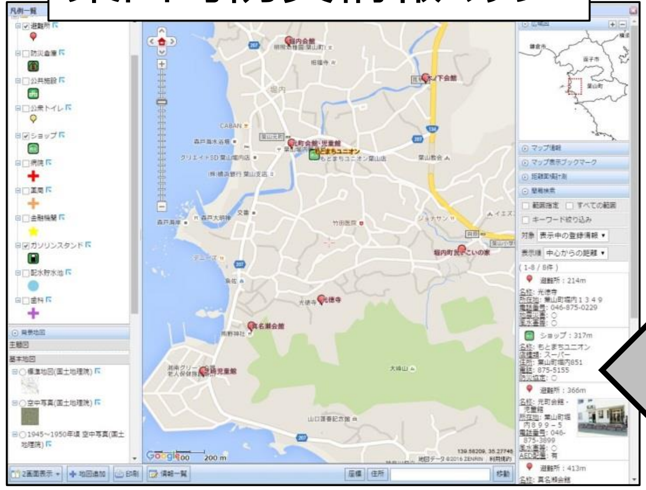
熊本地震臨時掲示板

★熊本地震特設サイト by 支援P　社協による情報集約サイト　5/13改訂

地域・リンク	開設状況	ボラ条件	現状
熊本市 HP Facebook	4/22開設、4/30サテライト開設	全国	熊本市災害ボランティアセンター 5/12 本部 466名 サテライト 76名　個人（仮称）花畑広場（熊本市中央区花畑町7番10号）団体（10名以上）熊本市災害ボランティアセンターサテライト（熊本県熊本市東区健軍3-1-43）（真如苑熊本支部駐車場）　個別の被災者宅での活動等を中心
宇城市 HP Facebook Twitter	4/25開設	全国に拡大(5/9	宇城市災害ボランティアセンター　5/11 108名　熊本県博物館ネットワークセンター多目的広場(旧 県自動車運転免許試験場跡地）（〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1695） 救援物資の仕分け、避難所での活動(清掃、配膳、話相手等)、在宅の要援護者の掃除や片づけを支援
西原村 HP Facebook	4/24開設	九州内外可能団体事前連絡	西原村災害ボランティアセンター　5/12 120名　5/12駐車180台まで予定　集合場所：熊本県阿蘇郡西原村鳥子358-3(東京カソード研究所跡地)　受付時間8:30-11:00　安全が確認された住居や街路灯の片づけ・避難所支援・物資の仕分けなど 農業復興ボランティアセンター(2日前までに申し込み、農作業手伝い)開始
益城町 HP Facebook	4/21開設	全国に拡大(5/9	益城町災害ボランティアセンター 5/12　484名 5/13 400名予定　（株）井関熊本製造所グラウンド（上益城郡益城町安永1400）安全が確認された住居や街路灯の片付け・避難所支援・物資の仕分けなど。これまで全国の方を対象にボランティアの募集を行ってきましたが、ゴールデンウィーク期間中(4/29～5/8)「県内在住の方」のみの募集に変更

http://ecom-plat.jp/ictkanagawa_sv/index.php?gid=10143

葉山町防災情報マップ



葉山町の避難所、防災倉庫、貯水池、公共施設、公衆トイレ、ショップ、GS、病院、薬局、金融機関をマップ上に設定してあり、それぞれ選択表示することができます。

現在、ポータルサイト・防災マップの編集をお手伝いいただける方を募集しております。ご興味のある方は hsvn77@yahoo.co.jp　またはHSVNのフェイスブックページからお問合せください。

葉山災害ボランティアネットワーク(HSVN)
http://ecom-plat.jp/ictkanagawa_sv/index.php?gid=10132
フェイスブック　https://www.facebook.com/hsvn77
メールアドレス　hsvn77@yahoo.co.jp　入会随時受付中

HSVN ニュース

葉山災害ボランティアネットワーク

2016年初夏号

熊本で何が起きたのか

再び起きた痛ましい災害から私たちが一つの教訓も学び取らないとすれば、被災された方々の発するメッセージは無駄となってしまいます。
今回の災害から我々が学ぶべき事は何なのでしょうか？
新聞報道をまとめてみましたので、ここから何を読取るべきか考えてみましょう。

2016年5月1日現在朝日新聞調べ

全死亡者数	死亡原因	死亡者数	%
49人	家屋倒壊	37人	75.5%
		・前震で死亡7人、本震で死亡30人	
		・一旦避難の後帰宅後本震で死亡　8人/30人	
		・家屋倒壊が原因の死亡者37人中20人は建築基準法改正以前の建築の家屋内で死亡	
	土砂災害	9人	18.4%
		警戒区域外での死亡	7人

熊本はいま

熊本県社会福祉協議会ホームページより ［2016年5月16日］

全国のボランティアの皆さまにより、これまでに多大なご支援ご協力をいただき本当にありがとうございます。こころから感謝いたします。

平成28年熊本地震による県内の被害状況は「全壊・半壊家屋の数、避難者の数」からいっても、今後も、家屋の片づけや引っ越し手伝い、避難所での支援・仮設での生活支援などで大型連休以降もボランティアが必要となります。

被災者宅の応急危険度判定や、道路等のライフラインの復旧などにより、自宅の状況が一時的に判明し、今後正式に住居の修理や確保の時期に移っていきます。

今後の展開として、５月中には、市営・町営住宅への引っ越し、６月以降は、仮設住宅等への引っ越しなどにより、少しずつ被災者の日常生活確保が予想されますので、今後も、ボランティア活動の支援は必要になります。

全国のボランティアの皆さま、ありがとうございます。どうか、今後の復興まで、長く気にかけて、ご支援をいただきますようお願いいたします。

熊本県各地のボランティアセンターの参加者数推移（4月19日～5月12日）
※情報提供：熊本県社会福祉協議会

4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	合計
175	488	267	1772	2724	2531	2221	2127	1256	1398	2708	3384	3210	2926	1284	3558	3144	949	1906	1818	835	503	1323	1513	44020

お願い

葉山災害ボランティアネットワークでは被災地での支援活動に用途を限定した「緊急支援活動準備金」を予算化しており、一部支援者様からの寄付もいただきつつ、昨年度は鬼怒川の水害被害に対する緊急支援活動の活動費に充当させていただきました。

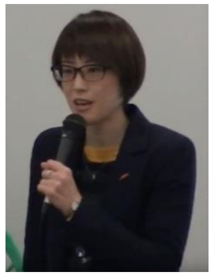
しかし今回の熊本のような遠隔地での災害や、度重なる災害発生に迅速に対応するには充分とは言い難いのが実情です。つきましては「緊急支援活動準備金」に対するご支援をお願いいたします。

振込先：横浜銀行葉山支店
口座番号：6017235
口座名：葉山災害ボランティアネットワーク
　　　　会計小峰梅男

問合せ：hsvn77@yahoo.co.jp
　　　　090-3401-6018(柿本)

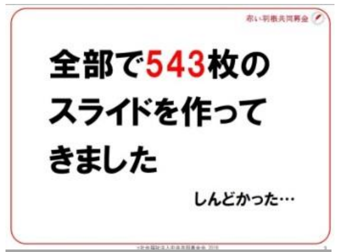
特集:第三回「災害ボランティアセンター設置運営訓練」開催

3回目となる「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を行いました。今年のテーマは「災害ボランティアセンターの広報力を高めよう」でした。日本ボランティアコーディネーター協会の城千聡さんをお招きして「災害ボランティアセンターが広報しないときに起こる悲劇」というテーマで講演とワークショップを行いました。



城さんの資料が膨大なため、抜粋も難しいので城さんも参加して作成された「災害ボランティアセンターにおける広報ガイドライン」の目次をご紹介します。これだけでも広報の課題が解ると思います。

※上記ガイドラインは「東京ボランティア・市民活動センター」のホームページからダウンロードできます



城さんはなんと543頁にもなる資料を作ってくださいました！

なぜ、災害ボランティアセンターに広報が必要なのか？

1 災害ＶＣに広報が必要な理由とは？

（１）災害時における広報は、まさにボランティア・コーディネーション

（２）災害時には情報を必要とする人が増える

（３）災害が起きると被災地地区の社協・ＶＣが地域外から注目される

（４）災害時、市民はマスコミに大きく影響される

（５）多くの人や団体がそれぞれで情報発信 。混乱を起こさないためにも、災害ＶＣとしての広報がる。

2 災害ＶＣが広報しないとどうなるの？

（１）被災者が必要な支援を得られなくなる。

（２）災害ＶＣが多くの問合せに時間や人手を取られ、被災者支援に力を注げなくなる。

3 広報のメリット！

（１）被災者に必要な支援が集まる！

（２）ボランティアが動きやすくなる！

（３）被災地にデマなど間違った情報が広まらない！

（４）災害ＶＣの業務が効率化される！

（５）災害ＶＣの信頼感が高まる！

災害ＶＣにおける広報のポイント

1 災害ＶＣの広報は、文章表現が命！

（１）「右目で書いて、左目で読む。」

（２） ＮＧワード「受入れ体制が整っていない」

（３） できないことは丁寧に理由を書く！

（４） 感謝のサンドイッチ

2 トンマナに気をつけよう！

「トンマナ」とは表現の「トーン」と「マナー」のこと。

（１）ホームページやフェイスブックの画像や色

（２）語尾、文の調子、絵文字

（３）内輪向け情報はダメ！

平時にできること

（１）マニュアルへ「広報担当」を位置づける。

（２）情報発信時の確認者・決裁者を決める。

（３）各種広報ツールに触れておく。

（４）災害時の広報ツールやハードの準備をする。

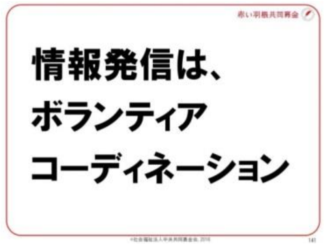
（５）地元のマスコミと情報交換する。

（６）災害ＶＣに関する資料を事前に作成する。

（７）文章を書くのに慣れる

（右目で書いて左目で読む）。

（８）仲間を平時に見つけておく。



情報発信は先手必勝！

「右目で書いて、左目で読む。」

Ⓒ電通コピーライター 渡邉 洋介さん

ラーメンあじ平長柄店

感謝！

葉山災害ボランティアネットワークは三留モーター商会様、ラーメンあじ平長柄店様から「支援活動準備金」のご支援をいただいて活動しております。

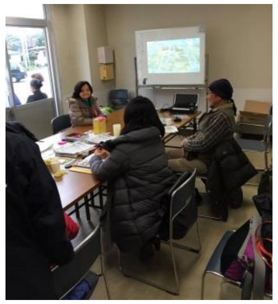
活動報告

はやま語り場「震災から５年　あの日を忘れない」

東日本大震災から５年目の３月１１日、元町会館ではやま語り場「震災から５年　あの日を忘れない」を行いました。

あの日それぞれが何をしていたのか、何を思ったのか、その後どのように過ごしてきたのか。いろんなことを語り合いあの日を思い出しました。

時間は残酷なもので、どんな記憶もいつかは薄れていくものです。こうして話し合う事で少しでも記憶の風化をとどめられるなら、あの震災の犠牲者の想いに応える事になるのではないでしょうか。

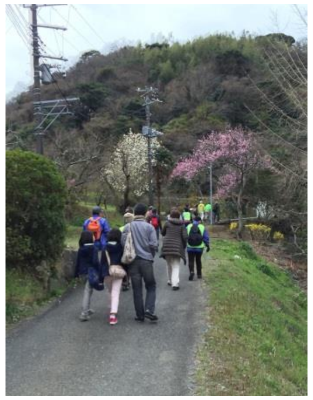


はやま町歩き「下山口探検」

３月２６日「葉山まちあるき下山口探検」を行いました。下山口町内会の方も参加していただき、木蓮や山桜が咲く下山口を隅々まで歩き、防災倉庫や地滑り危険地域など見て回りました。

お昼には下山口会館で多くの町内会の方と交流会も行い、いろいろ貴重なご意見もうかがい有意義な時間を過ごす事ができました。

嬉しい事に今回はお子さんが5人も参加してくれてました。なんと双子ちゃんが二組！長い事葉山に住んでいても初めて歩くところも多く、改めて葉山の自然環境の多様性を感じました。参加者の皆さまお疲れ様でした。



Column

逗子市、金沢区、横須賀市の方々と交流会を行いました。

4月21日に逗子市、横浜市金沢区、横須賀市という、葉山町と隣接する地域で活動する災害ボランティア団体、一部社会福祉協議会が集まって初めての交流会を行いました。

お互いの活動紹介に続いて、それぞれの地域が抱える課題や問題点などについてとても活発な意見交換ができました。今後もこのような交流は続けていこうという事も確認でき、この会がこの先の広域連携に向けた第一歩になるような予感がしてとても有意義な交流会になったと思います。

4月12日には葉山町社会福祉協議会の職員と湘南ビーチFM本社を訪問し、担当の役員の方と災害時における情報発信について意見交換を行いました。この件に関してはビーチFMがカバーしている逗子の関係団体とも連携してさらに意見交換を深めていく方向になりそうとの事。

葉山も含めて三浦半島で災害ボランティアセンターが設置される時には、各地から駆けつけてくれるボランティアの移動の事を考えても、隣接する地域同士が広域で連携していかなければうまく活動ができない事は明らかです。今回このような広域での連携関係の構築に繋がりそうな動きが具体的に見られたことは一歩前進で、このきっかけを是非前に進めていく必要があると思うのです。今後の動きを注視いたしましょう。

活動予定

葉山まちあるきNO.4

「堀内森戸海岸線探検」

鐙摺から真名瀬まで
ハザードマップ片手に歩いてみよう！

月日：6月4日(土曜日)　＊小雨決行

集合：鐙摺バス停(のぼりバス停) 9時30分集合

装備：帽子・歩きやすい服装・靴・飲み物・（雨具）

行程：天候等により、行程は変更します

参加希望のかたは、5月30日までにメール・ＦＡＸにて申込んでください。氏名・年齢・連絡先（荒天中止等の連絡先）をお知らせください。会員以外の参加も可（家族の方もご一緒に！）

メール：hsvn77@yahoo.co.jp

FAX/TEL：046-875-1839（矢嶋）

《被災地支援　ＢＢＱ懇親会》

まち歩き終了後、懇親バーベキュー大会を行います！

食材は東北の被災地からのお取り寄せ！

たくさん食べて、たくさん飲んで、たくさん語りましょう！

日時：6月4日　（土）13：00～16：00

会費：2000円（中学生以下無料！）

※詳細は別途メールでお知らせします。